

日本草地学会誌

Japanese Journal of Grassland Science

第66巻 第4号

2021年1月

研究報告

堤 道生・大谷一郎：マサ土におけるバヒアグラス (*Paspalum notatum* Flügge) の乾物生産量に対する堆肥および化学肥料施用の効果…………… 195

藤竿和彦・内野 宙・藤森雅博・出口 新：飼料用トウモロコシの子実含水率に与える気象と品種の影響…………… 200

総説

塩見正衛：仮説検定と p 値問題：草地学・農学における統計的手法の正しい利用のために…………… 209

特集

台風等の気象リスクを低減する飼料作物栽培の取り組み

奥村健治・田村健一：はじめに…………… 216

菅野 勉・赤松佑紀・須永義人・佐々木寛幸・佐々木 梢・清沢敦志・小柳 渉・高野 浩・折原健太郎・野中太輔・後藤 衛・時田 瞳：トウモロコシおよびソルガム類栽培の気象リスク評価に関する一試み…………… 218

佐藤 尚：トウモロコシの耐倒伏性評価について…………… 229

高野 浩・小林広人・清沢敦志・小柳 渉・清水翔太・菅野 勉：ソルガムとトウモロコシを組み合わせた作期分散技術によるリスク低減…………… 233

加藤直樹・服部育男・吉川好文・金子 真・桂 真昭・高井智之・荒川 明・上床修弘：九州南部の飼料生産における多毛作体系の導入による台風リスクの軽減効果…………… 242

学会記事…………… 248

第66巻総目次…………… 250

著者索引…………… 254

英文誌総目次…………… 256

日本草地学会

栃木県那須塩原市

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門内